



置賜自給圏ニュース

VOL. 5

～食べもの、エネルギーなど、
基礎的生活資源の自給・自立～



置賜自給圏シンボルマークが決定しました！このマークのコンセプトは「おきたまと育つ」です。若い新しい人たちがどんどん集まってきています。

地域資源を基礎に

隔週発行 2015年11月26日(木) 置賜自給圏推進機構 発行

一般社団法人 置賜自給圏推進機構 〒992-0031 山形県米沢市大町四丁目5番48号 マツヤ書店ビル3F TEL:0238-33-9355 FAX:0238-33-9354

新しい会員のご紹介です！

株式会社小島洋酒店

小島洋酒店は、明治初年(1868頃)米沢市今町にて、酒、食料品の卸売及び小売店として営業を開始しました。ビールの将来に着目しました。大正6年(1917)米沢の大火により店舗家屋が全焼しましたが、見事に再建。幾度の試練を乗り越えて置賜を代表する酒問屋となりました。



社長の小島勤さんは熱心に被災者支援活動などをサポートしています。

情報クリップ

お申込みお問い合わせは置賜自給圏まで↑

●第8回「置賜自給塾」に参加しよう！誰でも参加できます。

日時：12月17日(木) 18:00～19:00

場所：山形大学工学部 米沢街中サテライト

●講師：横山繁美さん(米沢ビジネスネットワークオフィス 地域情報プロデューサー)

●テーマ：BNO 設立経緯と取組そして、今、自給圏に期待すること

■部会開催案内

○地域資源循環農業部会 12月10日(木) 18:00～20:00

○食と健康部会 12月15日(火) 18:30～20:00

いずれも場所は米沢市 置賜自給圏事務所にて

シンボルマーク発表！



OKITAMA
JIKYUKEN
SUISINKIKOU

コンセプトは

「おきたまと育つ」

最優秀作品賞に輝いたのは、南陽市赤湯在住で現在、東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科3年生で20歳の関玖瑠未(くるみ)さん。今後、このマークをブラッシュアップしてより良いマークに仕上げてくれる予定です。

関さんは、「地元のことを仕事にしたいと思っていたので、その貴重な一歩を踏み出せたことは大変嬉しい」とのコメントを寄せてくれました。このマークは今後、置賜自給圏認定品などに使用される予定です。

「置賜」を様々な生産物の源となる土壌ととらえ、そこから種が芽を出し育つ様子をイメージしました。作物が育つと同時に、土(置賜自身)も成長するようなイメージです。置賜の地形をデフォルメした丸みのある可愛いイラストを使用しました。(作者談)



置賜自給圏 第1回 秋の収穫祭

秋の置賜の食材がいっぱい幸せいっぱいの日でした！



会員生産者の秋の 美味しいものいっぱいでした！

2015年11月22日(日) 長井市寺泉 あやめ温泉桜湯にて最大50名以上が集まり、秋の収穫祭を楽しみました。10時から

は丸山茂樹さんのミニ講演会 11時からは置賜自給圏シンボルマークの授賞式、そして11時半～ 秋の収穫祭スタート。菅野芳秀さんの卵、鶏のソーセージ、菊池富夫さんの豚肉、村岡謙二さんの合鴨、渡部務さん、秋津ミチ子さんのお野菜、塚田弘一さんの菊芋などなど、普段味わうことのできない貴重で豊かな食材を前に参加者の皆さんは楽しい話の花が咲きました。実行委員の皆様本当にありがとうございました。



今回の おすすめ ！！

自給圏共同購入

クリスマスのご準備に！

置賜自給圏の共同購入についてのお問い合わせは
(担当:高橋 尚 常務理事 電話:090-5842-2498)

小野川豆もやし
小野川豆もやし研究会
(米沢市)



生しいたけ
山形おきたま産直センター
(南陽市)



鶏骨付きもも肉
鶏チューリップ
鶏一羽(中抜き)
米沢郷牧場
(高島町)



ナチュラルチーズ
4種セット
ヤマラクフーズ
(南陽市)



特別企画1kg サイズ
ゴダチーズ
ヤマラクフーズ
(南陽市)



詳しくは共同購入カタログをご覧ください。